

第3 保健事業の変遷

第3 保健事業の変遷

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
昭和40年	・農夫症対策開始	・新生児全戸訪問 (国保対策)		・保健婦3人	63,365
41年	・そさいグループ健診開始 ・老人クラブ保健指導開始 ・高血圧料理講習会開始 ・健康相談室開催				64,091
42年			・腸・パラチフス廃止 ・百日咳・ジフテリアに破傷風が入り2種混合から3種混合に変わる		67,052
43年	・胃がん検診開始		・種痘切皮法から多圧法に変わる ・BCG切皮法から管針法に変わる	・看護婦1人	71,900
44年	・そさいグループ健診終了 ・子宮がん検診開始		・ハイジエッタ使用開始(61年まで)		75,962
45年	・農夫症対策終了	・赤ちゃん教室開始 ・乳児健診開始(1回)	・問診票使用開始 ・予防接種事故救済制度始まる	・看護婦2人体制 ・保健婦4人体制	79,842
46年	・糖尿病料理講習会開始	・乳児健診(2回) ・2歳児講習会開始	・日本脳炎1歳から3歳、日本脳炎小2、中1、55~64歳に改正	・消毒室開設	85,006
47年					88,537
48年	・成人病健康診査開始				92,697
49年		・1歳児健診開始	・ツバ・BCG 0~4歳、小1、中1、中2に改正 小2、中2は前年BCGのみ		95,884
50年	・保健衛生推進協議会設置	・乳児健診(4回)	・百日咳中止 ・種痘廃止	・	98,528
51年	・住民健診に血圧、検尿を導入	・2歳児講習会終了	・2種混合3期入学前廃止		99,566
52年		・1歳児健診終了 ・1歳6か月児健診10回	・風しん開始(中学3年女子)		100,236
53年	・小牧市民健康づくり推進協議会設置	・1歳6か月児健診24回	・風しん中学1・2年女子に改正 ・日本脳炎55歳~64歳中止 ・予防接種事故調査委員会発足	・保健婦国保から市町村に移管 ・休日急病診療所開設	100,837
54年	・住民健診ポスター作成	・1歳6か月児健診36回 ・事後検診開始3回	・麻しん個別接種開始	・保健婦3人体制	102,160
55年	・保健健康づくりモデル地区活動開始 ・コミュニティースポーツ振興会における健康づくり開始 ・糖尿病予防教室開始	・1歳6か月児健診に歯科健診を導入 ・なかよし教室(6回) ・幼児教室開始(6回)	・百日咳復活(3種混合) ・風しん中学1年女子に改正 ・ポリオ投与法スプーンからピベットに改正	・救急医療情報システムスタート ・保健婦4人体制	103,985

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
55年	・肥満教室開始 ・高血圧教室開始				
56年	・コンピュータードック開始 ・肥満教室、高血圧教室等シリーズ開始				106,630
57年	・保健衛生推進協議会廃止 ・乳がん自己検診法開始	・妊婦貧血教室開始(2回)	・一般会場一針一筒となる		108,885
58年	・健康手帳交付開始 ・北里支所健康相談中止 ・一般健診開始 ・小牧市健康まつり開始	・妊婦貧血教室(3回)		・保健婦3人体制	110,281
59年	・成人病教室の充実 ・コンピュータードック終了 ・大腸がん検診開始 ・子宮がん施設検診開始 ・保健連絡員養成講座開始	・妊婦貧血教室(4回) ・小冊子の作成 ・なかよし教室(12回)	・予防接種事故調査委員会廃止		112,097
60年	・肺がん検診開始 ・保健連絡員活動開始 ・一般健診ポスター作成開始	・妊婦貧血教室を妊婦栄養教室に改正(5回)			113,670
61年	・一般健診対象者へ個人通知 ・乳がん検診開始	・妊婦栄養教室(6回) 人形劇開始、尿中塩分量測定、みそ汁塩分測定 ・2語文アンケート		・保健婦4人体制	115,211
62年	・肺がんX線開始		・ハイジエッタ使用全面廃止 ・麻しん無料化 ・インフルエンザ任意、保護者同意となる	・保健婦1人増員 保健婦5人 看護婦2人	117,198
63年	・基本健診の開始 ・リハビリ教室開始 ・人間ドックの開始	・1歳6か月児健診に精密検査を導入 ・2語文アンケートを2歳児アンケートに改正	・予防接種電算調査	・保健センター開設 ・栄養士1人配置 ・看護婦1人増員(職員13人)	119,935
平成元年		・妊婦栄養教室を妊婦教室に変更 歯の健診を導入(12回) ・1歳6か月児健診に心理相談を導入	・MMR開始	・看護婦3人体制 ・補佐職配置 ・保健指導係長兼務(職員14人)	122,913
2年	・訪問生活リハビリ開始 ・40歳無料大腸がん検診開始 ・食生活相談紹介状の導入により医師会との食事指導の連携ができる ・「生きがいの会」発足		・予防接種協議会の設置	・保健婦1人増員 ・保健婦6人体制(職員15人)	125,261

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
3年	・乳がん検診にDMRを導入 基本健診に尿酸、総蛋白を加える		・MMR凍結		129,267
4年	・成人歯科健診 ・がん死亡撲滅地区事業開始 モデル地区 ＝岩崎原区、市之久田区 ・歯科衛生士による訪問指導開始				131,024
5年	・成人健康管理システム稼働 基本健診にHDL・中性脂肪・クレアチニン追加 ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝三ツ渕区、野口区 ・成人歯科健診を3回から6回に拡大 ・ボランティア健康劇団「ほたる」発足 ・地域ケアボランティア「ともしび」発足			・補佐職兼務を解く ・歯科衛生士1人配置 ・看護婦1人退職 (職員数16人) 保健婦6人 看護婦2人 栄養士1人 歯科衛生士1人	133,723
6年	・人間ドック300人増加 (総数1,800人) ・人間ドック受診料5,660円→6,000円 ・人間ドック検便を2日法に変更 ・骨粗しょう症検診健康教育 ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝小牧原区、北外山県住区 ・ボランティア「つつい」 (1人ぐらし老人食生活の工夫)発足 ・小牧市老人保健福祉計画作成	・乳幼児管理システム稼働 ・母子保健法一部改正	・インフルエンザ取りやめる ・予防接種法一部改正により、予診医師1人1時間あたり100名→20名	・保健婦1人増員 保健婦7人体制 (職員数17人)	135,632
7年	・人間ドック300人増加 (総数2,100人) ・骨粗しょう症予防教室 ・地域リハビリの集い「たんぽぽの会」開始(南岩崎台) ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝本庄区、藤島団地区 ・保健連絡員活動10周年記念事業 ・健康まつりで骨粗しょう症検診 (国保会計)		・風しん個別接種 予防接種法一部改正により、名称及び対象年齢の変更 個別接種化に伴い、会場数を変更 10→6会場	・保健婦1人増員 保健婦8人体制 (職員数18人)	137,226

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
8年	<ul style="list-style-type: none"> ・骨粗しょう症検診 (新規) 年6回 130人×6回=780人 ・基本健診 HbA1cの項目追加 (ヘモグロビンA1c) ・地域リハビリ「ももの会」開始(東部) ・がん死亡撲滅モデル地区 =村中区、大草西・東区 ・いきいきウォーキング推進事業 =北里中学校区 応時中学校区 ・リフレッシュウォーク 四季の森～四季の道 (389人参加) ・ボランティア「つついじ」が料理する一人ぐらし簡単料理を広報こまきに掲載開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・9年移譲にむけて、保健センターを会場として4か月児健診の実施(実施主体保健所) ・乳幼児管理システム第2次開発 ・母子保健計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本脳炎個別接種 個別接種化に伴い、会場数を変更 6→5会場 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健婦2人増員 看護婦1人増員 保健婦10人 看護婦3人 栄養士1人 歯科衛生士1人退職 (職員数21人) 	138,795
9年	<ul style="list-style-type: none"> ・骨粗しょう症検診 年6回 150人×6回=900人 ・人間ドック300人増加 (総数2,400人) ・がん死亡撲滅モデル地区 =桜井区、大輪区 ・地域リハビリ「わかばの会」開始(藤島団地) ・いきいきウォーキング推進事業 =光ヶ丘中学校区 味岡中学校区 ・ボランティア「つついじ」が愛知県健康づくり振興事業団の助成により1人ぐらし簡単料理広報掲載の効果判定 	<ul style="list-style-type: none"> ・県より事務移譲 1 妊婦及び乳幼児健診事業 2 4か月児・3歳児健診事業 3 乳幼児歯科健診予防処置事業 4 食生活改善推進員養成・育成事業 5 妊婦及び乳児健診受診券交付 ・母子保健推進協議会設置 ・2歳3か月児歯科健診開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・2種・3種混合個別接種 ツベルクリン・BCGを4か月児健診にあわせて実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成9年4月1日から統廃合により小牧保健所が春日井保健所小牧支所となる ・健康まつりにポルトガル語、スペイン語の通訳、手話通訳を配置 ・保健婦2人増員 事務員1人増員 保健婦2人退職 保健婦12人体制 歯科衛生士1人配置 (職員数24人) 	140,819
10年	<ul style="list-style-type: none"> ・がん死亡撲滅モデル地区 =間々区、岩崎区 ・いきいきウォーキング推進事業 =篠岡・桃陵中学校区、岩崎中学校区 ・食生活改善推進員養成講座開始 ・小牧市食生活推進協議会設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食教室導入 (年6回) ・母乳相談の導入 (月4回) ・妊婦教室をパパママ教室に変更 ・こども事故予防コーナーの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・市外中学校通学者対象の接種を夏休みにあわせ実施 ・ボリオ投与回数変更 年2回→3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・4か月児・1歳6か月児・3歳児健診にポルトガル語、スペイン語の通訳配置 ・保健婦2人増員 ・保健婦1人10月より介護保険課へ 保健婦1人退職 看護婦1人退職 事務職1人退職 保健婦14人体制10月より13人体制 (職員数26人) 	141,911
11年	・がん死亡撲滅モデル地区	・助産婦による妊産婦、新生児、乳児		・保健指導係が母子保健係と成人保健	143,050

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
11年	<ul style="list-style-type: none"> = 池之内区、小木区 ・いきいきウォーキング推進事業 = 小牧中学校区 小牧西中学校区 ・水中ウォーキング教室温水プール (延233人参加) 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問導入 (100件) ・育児専用電話「こまねっと」設置 ・育児相談を市内6か所の児童館で開設 ・園児と親を対象に親子歯みがき教室開設 ・小牧市独自の母子手帳の作成・交付 (6月) 		<ul style="list-style-type: none"> 係に分かれる 保健婦1人退職 保健婦1人減員 事務職1人減員 保健婦13人体制 (職員数24人) ・保健センター改築 (1階事務所改築により、消毒室を3階へ、玄関前スロープ及び障害者用トイレを改築) 	
12年	<ul style="list-style-type: none"> ・がん死亡撲滅モデル地区 = 小牧区、米野区 ・人間ドック200人増加 (総数2,600人) ・人間ドック受診料6,000円→7,050円 ・人間ドックの名称を「すこやかドック」、基本健診を「さわやか健診」と変更 ・地域リハビリ「こめこめ12」開始(小牧南) ・寝たきり予防講座 (参加401人) ・地区巡回介護講座 (8回193人参加) ・健康ウォーキングマップ「いい汗かいていいもの発見」 (1,500部発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ・4か月児健診に合わせた母親歯科健診導入 ・助産婦による妊娠婦、新生児、乳児訪問 (100件→150件) ・2歳3か月児育児相談(7月) ・育児支援を中心とした乳幼児健診体制を実施 ・日曜パパママ教室開始(年3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別接種化に伴い、会場数を変更 5→4会場 	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳3か月児歯科健診 ポルトガル語、スペイン語の通訳配置 (職員数24人) 	144,382
13年	<ul style="list-style-type: none"> ・がん死亡撲滅モデル地区 = 舟津区、久保一色区 ・人間ドック100人増加 (総数2,700人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時相談を開始 ・助産婦による妊娠婦、新生児、乳児訪問 (150件→200件) ・にこにこむし歯予防教室(6回) ・親子で楽しむ料理教室、保健連絡員、母子に対する取組み開始 ・4か月児健診1日に保育ボランティア「バオバブの木」参加 ・保健連絡員「親子料理研究会」発足 	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上を対象としたインフルエンザ予防接種が始まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンによる保健総合システムを導入 (職員数24人) 	146,225
14年	<ul style="list-style-type: none"> ・人間ドック150人増加 (総数2,850人) ・すこやかドック・さわやか健診に併せて肝炎検診 ・がん死亡撲滅モデル 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健連絡員とOBによる赤ちゃんの全戸訪問開始 (10月) ・一般公募による保育ボランティア活動開始 		<ul style="list-style-type: none"> ・保健師1人退職 (職員数23人) 	147,055

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
14年	ル地区 = 池之内・林・大山野口区、下小針区	・第2次母子保健計画作成(11月から推進) ・市内モデル校によるフッ化物洗口開始 (小牧原小学校・北里小学校)			
15年	・人間ドック550人増加 (総数3,400人) ・人間ドック受診料7,050円→9,000円 ・がん死亡撲滅モデル地区 = 北外山県住区、小牧原区 ・地域リハビリ「健康の集い」(野口第5) 「ピーチの会」(桃ヶ丘)開始 ・転ばぬ先の転倒予防教室開始 ・家族の健康を考える食生活講座開始 ・介護者を支える会「ささの会」発足	・母子健康手帳を親子健康手帳として交付 ・外国人向け母子健康手帳の交付 ・パパママ教室3回コースの2・3回目を日曜日開催 ・4か月児健診(2日目)に図書館主催によるブックスタート事業が8月より開始	・小・中学校でのツベルクリン・BCG接種の中止 ・H15年9月風しん予防接種経過措置終了	・保健師3名3月退職 (職員数23人)	148,387
16年	・がん死亡撲滅モデル地区 = 入鹿出新田区、南岩崎台区 ・保健師市民健康相談 9時~16時→9時~12時 ・脳いきいき教室開始 ・生活習慣病予防教室「運動はじめて体験教室」参加者106人 ・健康こまきいきいきプラン作成 ・ウォーキングマップ改訂	・パパママ教室を3回コースから1回に変更 ・日曜パパママ教室を年3回開催 ・運動発達相談開始 ・おひさま教室開始 ・生と性に関するカリキュラム「親・地域版」完成		・休日急病診療所移転 診療科目に外科・歯科を増設 ・事務職1人12月退職 ・事務職1人3月退職 (職員数22人)	149,208
17年	・がん死亡撲滅モデル地区 = 上末・下末・高根区、多気上・多気下区 ・住民健康診断が9日間から2日間へ ・胸部レントゲン撮影が65歳以上の方が対象となる(結核検診) ・人間ドック400人増加 (総数3,800人) ・さわやか健診オプションとして胸部X線検診開始 ・さわやか健診・すこやかドックのオプシ	・前期離乳食教室・ごっくん教室開始 ・育児相談月4回から月2回へ ・4か月児健診を2日コース→1日コースへ変更 ・4か月児健診未受診児への対応を個人通知から電話・訪問へ変更	・ツベルクリン反応検査の中止 ・ダイレクトにBCG接種対象が生後6か月未満に変更 ・H17年5月30日より日本脳炎の接種勧奨の見合わせ ・H17年7月29日より日本脳炎第3期廃止 幼児期2種混合が定期外となる ・麻しん予防接種と風しん予防接種の単独ワクチンが3月末日で終了となる為接種勧奨	・栄養士1人3月退職 (職員数24人)	150,569

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
17年	ヨンとして前立腺がん検診開始(対象50歳以上) ・体しなやか膝腰スッキリ教室開始 ・健康日本21こまき計画「健康こまきいきいきプラン」策定 ・保健連絡員活動20周年記念事業 ・05健康・福祉フェスティバルinこまき(健康まつり、福祉展、介護展、歯ピカピック4催事の合同展としてパークアリーナにて開催)				
18年	・平成18年度より、がん死亡撲滅モデル地区は小学校区で実施 ＝小牧南小学校 小牧小学校 ・住民健康診断2日間実施 ・乳がん、子宮がん検診受診が2年に1回に変更 ・介護保険・地域支援事業(介護予防事業)担当 ・06健康・福祉フェスティバルinこまき(健康まつり、福祉展、介護展、歯ピカピック4催事合同展) ・傾聴ボランティア「そよかぜ」発足 ・「牧連体操クラブ」発足	・生と性に関するカリキュラム「小学校・中学校版」完成 ・親子健康手帳改正(生と性に関する項目、特に自己肯定感の大切さを意識して加筆) ・マタニティキーホルダー配布(1月) ・第2次母子保健計画中間見直し	・麻しん風しん混合予防接種開始 対象が 第1期 1歳～2歳未満 第2期 小学校入学前の1年間(年長児)に 変更 ・児童の集団接種が 中止となり個別接種へ変更(2種混合、日本脳炎)	・事務職1人3月退職 (職員数23人)	151,288
19年	・がん死亡撲滅モデル地区 ＝三ツ渕小学校 一色小学校 ・保健連絡員設置要綱改正(対象が「市内在住の主婦の方」から「20歳以上の市内在住の方」へ変更) ・「血液さらさら」をモデル地区及び6地区で実施 ・おくち元気はつらつ教室開始 ・メンタルヘルスセミナー「山口律子講演会」H20年2月29日(202名)	・自分を大切にすることができる「自己肯定感獲得DVD-みんなちがってみんないい」を制作し、H20年1月より、乳幼児健診や希望者に配布、あわせて健康教育を行う ・発達障害をもつ親子を支援する「成長記録」の試作 ・不妊検査及び治療費助成開始 ・妊婦健康診査公費負担 2回→5回 ・8020歯っぴースマイル！歯みがき教室開始	・結核予防法から感染症予防法に改正される	・栄養士1人増員 看護師1人減員 事務職1人増員 事務職1人3月退職 (職員数24人)	152,445
20年	・がん死亡撲滅モデル地区 ＝大城小学校 小木小学校	・妊婦健診公費負担 5回→14回 (H21.1.27以降)	・麻しん風しん混合予防接種 第3期・第4期が5年間の経過措置	・事務職1人減員 (職員数23人)	153,495

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
20年	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤング健診の開始 ・地域リハビリ「西コミふれあいの会」開始（西部地区） ・老人保健法から健康増進法に改正される ・さわやか健診・すこやかドック廃止 健康診査（生活保護受給者）開始 ・がん個別健診開始 ・肝炎ウイルス検診の対象者を節目検診から40歳の方に変更 ・ウォーキングマップの改訂 ・低栄養予防に関するリーフレット配布開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人ボランティアによる赤ちゃん訪問を試験的に開始 ・生と性に関するカリキュラム小学生中学生版を全校で開始 ・安心相談カードを中学2年生全員に配布 ・市立中学2年生全員に「生と性に関するアンケート」を実施 ・市内保育園における年長児を対象としたフッ化物洗口事業を開始 	<p>で開始 対象 第3期：中学1年生に相当する年齢の間の1年間 第4期：高校3年生に相当する年齢の間の1年間</p>		
21年	<ul style="list-style-type: none"> ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝米野小学校 　　小牧原小学校 ・地域リハビリ「なんなん21」開始（南部地区） ・女性特有のがん検診推進事業開始 対象： 子宮がん (20、25、30、35、40歳) 乳がん (40、45、50、55、60歳) 一定の年齢に達した女性に無料クーポン券と検診手帳配布 ・歯周病予防個別健診開始 (対象：35歳) ・健康日本21こまき計画「健康こまきいきいきプラン」中間見直し ・健康福祉フェスティバル in こまき4催事→3催事（健康まつり、福祉展、介護展） 会場：パークアリーナから市民会館、公民館に変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・4か月児健診と1歳6か月児健診にて子育て支援センターと連携 ・市立中学2年生とその保護者に「生と性に関するアンケート」を実施し、思春期の諸問題に対する方策を検討 ・親子健康手帳改正（朝食の大切さに関する内容を充実） 	<ul style="list-style-type: none"> ・肺炎球菌ワクチン予防接種費用一部助成開始 対象：75歳以上 ・新型インフルエンザワクチンの接種開始 ・新型インフルエンザワクチン接種に係る費用軽減事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・（職員数23人） 	153,581
22年	<ul style="list-style-type: none"> ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝村中小学校 　　味岡小学校 ・向井亜紀がん講演会 H23年1月9日（568名） ・地域自殺対象緊急強化事業「水谷 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページと携帯サイトに「思春期によくある質問Q&A」と「小学生と中学生のための相談窓口」を掲載 ・妊婦健診公費負担内容（子宮がん検診、初回血液検 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本脳炎予防接種 3歳になる子に接種勧奨開始 (H22.4.1～) ・インフルエンザ3価ワクチン接種(H22年10月1日～H23年3月31日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・所長補佐職母子保健係長兼務 保健師1人増員 (職員数23人) 	153,371

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
22年	修講演会」 H23 年3月19日 (783名) ・健康日本21こまき 計画「健康こまき いきいきプランコー ナー」として小牧産 業フェスタに参加	査等)の充実 ・妊婦健診受診票に 妊婦(成人)歯科 健診受診票を挿入	・任意予防接種無料接種開始 (H23.1.1~) 子宮頸がん予防ワクチン ヒブワクチン 小児用肺炎球菌ワクチン		
23年	・がん死亡撲滅モデ ル地区 ＝光ヶ丘小学校 北里小学校 ・地域リハビリ終了 こめこめ12(米野 小) 健康の集い(野口 第5) ・働く世代への大腸 がん検診推進事業 (集団)開始 対象:40、45、5 0、55、60 歳の男女 ・健康日本21こまき 計画関連事業 ・「いきいきおせっか」 発足 ・いきいき世代個別 歯科健診事業開始 対象:40、50、 60、70歳	・妊婦健診公費負 担内容(成人T細 胞白血病ウイルス 検査、性器クラミジ ア検査)を追加 ・子育て支援機関連 携会議を開催(ハ ローファミリーカード の導入) ・妊娠届出時アンケ ートの充実 ・小学1・2年生を対 象に「いのちの学 習」を実施(15校) ・市ホームページと携 帯サイトに掲載中 の「思春期によくあ る質問Q&A」の内 容を充実	・ヒブワクチン、小児 用肺炎球菌ワクチ ン一時見合わせ (H23年3月5日~ H23年3月31日) ・水痘(水ぼうそう) ワクチン予防接種、 おたふくかぜワクチ ン予防接種費用助 成開始 (H23.10.1~) ・日本脳炎特例措 置開始 (H23.5.20~) (H7.6.1~H19.4. 1生まれの者が20 歳になるまで)	・所長補佐職母子 保健係長兼務 保健師1人増員 (職員数23人)	153,507
24年	・がん死亡撲滅モデ ル地区 ＝本庄小学校 篠岡小学校 ・働く世代への大腸 がん検診推進事業 (個別)開始 対象:40、45、5 0、55、60 歳の男女 ・ウォーキングマップ の改訂 ・知立市健康推進 員視察と健康連絡 員との交流会 ・第30回健康まつり (フェスティバル)を もって終了 各地区健康展で 開催 ・職域対象歯周疾 患対策普及啓発 事業開始(商工会 議所連携事業)	・妊娠期からの育児 支援を目的に愛知 県統一様式の妊娠 届出書を採用 それに伴い、市独自 の妊娠届出時アンケ ートを変更 ・平日パパママ教室 (栄養・歯について) ・日曜パパママ教 室(育児について) で開催された内 容を見直し、パパマ マ教室(育児・栄 養・歯について)とし て、平日や日曜日 に開催 ・親子で楽しむ料理 を考える会活動終 了 ・市立中学2年生に 「生と性に関するア ンケート」を毎年実 施してきたが、今後 5年毎の実施とする 予定(H29年度 実施予定) ・市ホームページと連 携サイトに掲載中 の「思春期によくあ る質問Q&A」に 「いじめ」についての 内容を追加	・生ポリオワクチンか ら不活化ポリオワク チンへ (H24.9.1~) ・4種混合ワクチン開 始 (H24.11.1~) ・尾張北部医療圏 広域予防接種開 始 (H24.6.1~)	・所長補佐職成人 係長兼務 保健師1人増員 (職員数23人)	153,344

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
25年	<ul style="list-style-type: none"> ・がん死亡撲滅モデル地区 =小牧南地区、桃ヶ丘小学校 ・地域リハビリ終了ピーチの会(桃ヶ丘地域) ・健康日本21こまき計画「健康こまきいきいきプラン」最終評価 ・「こころの相談窓口」パンフレット改訂 ・乳がん(超音波)検診の開始 対象:30~39歳 ・介護予防事業一次予防事業「筋力アップのためのトレーニングマシン講習会」「サヨナラ膝腰痛教室」「男性のための膝腰痛予防プログラム」開始 ・地域主体の健康まつり(展)の拡充 ・「糖尿病連携手帳」を活用した歯周病予防事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・低体重児の届出及び未熟児訪問が愛知県から権限移譲 ・健診の事後教室として、親子のかかわりを学ぶ「あそびの教室」を開始 ・小学2年生とその保護者を対象に「いのちの学習」を実施(16校) ・中学3年生に対し「素敵な大人になろう~性感染症の予防~」を実施(7校) ・園児対象う蝕対策普及啓発事業開始(学官連携事業) ・学童期歯科疾患対策モデル事業開始 ・栄養相談をH26年3月より、試験的に実施し、2名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン定期接種化(H25.4.1~) ・BCG接種対象者生後1年に至るまでに変更(標準:生後5~8か月)(H25.4.1~) ・子宮頸がん予防ワクチン H25.6.14より積極的な勧奨の差し控え ・風しんワクチン予防接種費用助成事業開始(H25.7.1~) 日本脳炎特例措置生年月日の拡大(H7.6.1生→H7.4.2生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師1人増員 事務職1人減員 	153,170
26年	<ul style="list-style-type: none"> ・女性特有のがん検診推進事業(乳・子宮がん検診) ① «乳・子宮がんコールリコール» H26年度検診申込者で、H21~H24年度に無料クーポンを配布し、年度内の未使用者に対し本人の申し出により、再度無料クーポンを配布 ② «無料クーポン券の配布年齢を変更» 乳がん検診:40歳のみ 子宮がん検診:20歳のみ ・胃がん・大腸がん検診対象年齢を40歳以上から30歳以上に拡大 ・人間ドック事業を開始 対象:40歳以上の国民健康保険被保険者、後期高齢者医療被保険者、協会けんぽ被扶養者の方限定(年度内に40歳を迎える 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児健診受診票の金額変更 (1回目・2回目 5,350円から、1回目 5,180円、2回目 5,990円へ) ・乳幼児健診(集団)の問診票を保護者が外国人の場合、あらかじめ母国語の問診票を郵送 ・にこにこむし歯予防教室をH25年度より、にこにこむし歯予防相談とし、児童館にて実施 ・安心相談カードを教育委員会の相談カードと一体化、市内中学1年生と高校1年生に配布 ・学校保健課題解決事業において小牧市生と性のカリキュラムの公開授業研究に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・水痘ワクチン定期接種化(H26.10.1~) 経過措置(H26年度のみ)生後36月~60月に至るまでの間の児を対象 ・成人用肺炎球菌ワクチン予防接種費用一部助成の対象者変更 75歳以上→70歳以上 ・成人用肺炎球菌ワクチン定期接種化(H26.10.1~) 経過措置(H26~30年度) 当該年度 65、70、75、80、85、90、95、100歳の者 H26年度はH25年度末に100歳以上の者 ・愛知県広域予防接種開始(H26.4.1~) (A類疾病のみ) ・日本脳炎(第2期) 高校3年生に相当する学年の方で未接種に対し個別通 		153,303

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
26年	<p>方も対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診自己負担額見直し 70歳以上0円→500円／各検診 69歳以下軽減 ・非課税世帯者に対し、「がん検診・人間ドック費用免除券」を保健センター窓口にて発行 ・がん死亡撲滅モデル地区 =小牧地区 陶小学校区 ・保健連絡員OB「つづじ会」(一人暮らし高齢者の食生活の研究と工夫)活動終了 ・壮年期対象の機能訓練教室終了 ・第2次健康日本21こまき計画「健康こまきいきいきプラン」策定 		予防接種 知開始		
27年	<ul style="list-style-type: none"> ・がん死亡撲滅モデル地区 =巾下地区、味岡地区 ・こまき健康マイレージ事業開始 ・保健連絡員活動30周年記念事業 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 (乳・子宮がん検診) «乳・子宮がんコールリコール» H25年度に無料クーポンを配布した方で年度内に未使用かつ過去5年間(H22~H26年度)に一度も保健センターの検診を受けたことがない方に、無料クーポン券を個別通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年8月中旬より自己肯定感獲得動画を市のホームページでネット配信DVDは乳幼児健診等で希望者に配布 ・高校にてモデル事業として生と性のカリキュラムを推進 ・「健康寿命をのばそくアワード」母子保健分野(自治体部門)において優良賞受賞 「母子保健推進協議会から発信する親子の自己肯定感の醸成=『心豊かにいきいきと生きる力』を持つ子どもの成長につなげていくために=」 ・H28年3月7日より、市ホームページ上に「お子さんの発育や発達に不安を感じたら・・・」を掲載 その中で自閉症スペクトラム評価尺度「エムチャット」について、活用したい人が活用できるよう、情報提供(外部リンク)を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本脳炎(第1期) 未接種(H13.4.2生～H19.4.1生)に対し個別通知 ・2種混合(第2期) 発送時期変更 12歳誕生日→11歳の誕生日の翌月 ・尾張北部医療圏の広域接種(B類)H28.3.31で終了 ・インフルエンザワクチン3価→4価に自己負担1,000円→1,200円に変更 	153,680	
28年	・こまき健康マイレージ事業からこまき健康いきいきポイント	・市内の高校(3校)にて、生と性のカリキュラムを推進	・愛知県の広域予防接種B類疾病開始(H28.4.1～)	・初動時における災害時保健活動実践マニュアル(保健	153,526

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
28年	<p>ヘ名称変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングアプリ「alko」を10月から配信 ・がん死亡撲滅モデル地区 =東部地区、北里地区 ・介護予防事業一次予防事業「男性のための膝腰痛予防プログラム」終了 ・胃がん(内視鏡検査)検診を50歳以上の方に対し2年に1回、和暦の偶数・奇数で区別し、偶数生まれの方から検診を開始 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 «乳・子宮がんコールリコール» H26年度に無料クーポンを配布した方で年度内に未使用かつ過去5年間(H23~H27年度)に一度も保健センターの検診を受けたことがない方に、無料クーポン券を個別通知 ・人間ドック受診期間を6月~翌年2月14日まで延長 ・こまきヘルシーメニュー事業をH29年2月から開始 ・5大がん検診の要精検者に再通知を開始 	<p>・赤ちゃん訪問において、外国人家庭へ積極的に訪問実施</p> <p>・親子健康手帳の表紙デザインを従来の卵のデザインから市ブランドロゴマークをアレンジしたデザインへ変更</p> <p>それに伴い、卵や鳥をたとえにした文章表現を変更</p> <p>・第1回母子手帳フォーラム(東京)に参加し、「親子健康手帳における小牧市の思い」を報告</p> <p>・愛知県公衆衛生研究会にて、「1歳6か月児健診後の言語発達における伸びを予測する因子-遊びの場を活用した健診にて-」について研究発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3種混合ワクチン販売中止 最終有効期限 H28.7.15で終了 ・B型肝炎定期接種化(H28.10.1~) ・日本脳炎第2期H19.4.2生~の勧奨再開 	班活動マニュアル)の作成	
29年	<p>・こまき健康いきいきポイント事業のポイント有効期限を2カ年に変更</p> <p>・壮年期保健事業出前講座に「正しいラジオ体操教室」を追加</p> <p>・介護予防事業一次予防事業に「いきいき元気塾」運動編を味岡市民センターでも実施 「カラダによく効くラジオ体操講習会」を追加</p> <p>・乳がん(マンモグラフィ)個別検診開始</p> <p>・がん撲滅モデル地区 =小牧南地区、</p>	<p>・親子健康手帳について、愛知県医師会から愛知県保健医療局長あてに、母子健康手帳の県内統一に関する要望書が提出されたことを受けて、母子保健推進協議会で協議した結果、①B6サイズへの変更、②省令様式の遵守、③予防接種記録等に関するページの振り分けについて、H29年度印刷分の親子健康手帳について変更</p> <p>・国から、乳児ボツリヌス症の予防対策について、任意記載事項様式「乳幼</p>	<p>・特別な理由による定期予防接種の再接種費用の助成開始</p>	<p>・初動時における災害時保健活動実践マニュアル(保健班活動マニュアル)の改正 (妊産婦、乳幼児のいる家庭の平常時の備えについて啓発を追加)</p> <p>・新型インフルエンザ特定接種について市民病院と協定を結ぶ</p>	153,335

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
29年	小牧地区	<p>児期の栄養」についての掲載を前提とした上で再周知の通知を受けて、小牧市独自の内容から任意記載事項様式に変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不育治療等助成事業の開始 従来の一般不妊治療等助成事業に加え、不育治療等助成事業を開始 不育症についての検査及び治療を受けられたご夫婦に対し、保険適用外の医療費を助成 ・妊婦個別歯科健診の実施 ・妊産婦、新生児、乳児訪問の予算を380件から530件へ増加 ・小牧高等学校(全日制)において、生と性のカリキュラム=小学校・中学校版の推進=について、今後、市内の全高等学校を対象としたカリキュラムの推進を目的として、市内の全高等学校と共に公開授業研究を実施 ・第2回母子手帳フォーラムを小牧市で開催(H29年7月1日) (国際母子手帳委員会主催、小牧市後援) ・小牧市立中学2年生を対象に生と性に関するアンケートを実施 			
30年	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期出前講座に「女性ホルモンとカラダのトリセツ講座」を追加 ・健康日本21重点施策の取り組みとして、「市民健康講座」を開催 ・小牧市自殺対策計画策定 ・骨粗しょう症検診受診料見直し ・老人福祉センターで実施している老人健康相談を48回から24回へ変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれに事例検討会や研修会が開催されているため、知恵の輪会を終了 ・H30年4月1日出産以降の産婦及び新生児を対象に、産婦健診2回/人(5,000円/回)、新生児聴覚検査1回/人(5,000円/回)の受診票を交付 ・9月～子育て世代包括支援センターにて、産後ケア事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人用肺炎球菌ワクチン助成事業終了 終了に伴い未接種者に対し接種勧奨を個別に通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・助産師1名増員 ・9月子育て世代包括支援センター開設 (母子保健係長、保健師1名、助産師1名異動) ・所長補佐職、母子保健係長兼務 ・9月、子育て世代包括支援センター開設(ラピオビル内)母子保健型利用者支援事業の実施に伴い、親子健康手帳の交付、妊婦・産婦・乳児個 	152,944

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
30年	<ul style="list-style-type: none"> ・10月～「筋力アップのためのトレーニングマシン講習会」を第1老人福祉センターで実施 ・フレイル予防のための教室「～笑いの泉～わっはっは講座」を老人福祉センターにて実施 ・がん死亡撲滅モデル地区 =巾下地区、味岡地区 ・乳がん(マンモグラフィ)検診 <ul style="list-style-type: none"> ①受診者への「乳房の構成」通知開始 ②無料クーポン未受診者に再通知を実施 ・協会けんぽ被扶養者向け集団特定検診と市の胃・大腸がん検診の同日開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援アプリ「すくすくこまキッズ」配信開始 ・妊娠期サポートプランを作成・配布 ・12月～子育て世代包括支援センターにて、「利用者支援事業会議」を月1回開催 		<p>別健診事業、妊婦個別歯科健診事業、低体重児の届出、妊産婦、新生児、乳児訪問、育児相談(市内児童館巡回育児相談、母乳相談会)を保健センター母子保健係より子育て世代包括支援センターへ移管</p>	
令和元年	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき世代個別歯科健診事業の対象者拡充(5歳刻みにし、75歳を追加) ・ウォーキングアプリalkoが8月に秘書政策課から移管され3月まで所管 ・乳がん、子宮がん検診無料クーポンの未受診者の再通知を開始 ・第2次健康こまきいきいきプランの中間評価及び後期計画の策定 ・ウォーキングマップ改訂 ・がん死亡撲滅モデル地区 =東部地区、北里地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯っぴー子育て講座を開始 ・事後検診終了 ・股関節脱臼チェックリストを4か月児健診及び産婦、新生児、乳児訪問で導入 ・子育て世代包括支援センターにて「アニバーサリー事業」を開始 ・1歳サポートプランを作成・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日からロタウイルスワクチン予防接種費用助成事業を開始(市独自) ・成人用肺炎球菌ワクチンの経過措置の延長:R元年～5年度(国の施策) 当該年度65、70、75、80、85、90、95、100歳の者 ・大人の男性風しん対策事業(国の施策)対象者に抗体検査及び接種クーポンを送付 	<ul style="list-style-type: none"> ・所長補佐職成人保健係長兼務 ・4月1日から骨髄提供者等助成事業を開始 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、成人保健事業及び母子保健事業の一部事業を中止(3月) ・愛知県災害時保健活動体制整備強化事業により「災害時地域まるわかりシート」を春日井保健所と共に作成 ・統括保健師の開始 	152,816
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・小牧市歯と口腔の健康づくり推進条例の公布 ・成人歯科健診終了 ・健康ポイント事業(ウォーキングアプリalko含む)小牧市健康づくり推進協議会を健康生きがい推進課へ事務移管する 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期支援プランを作成・配布 ・多胎妊娠向けサポートプラン作成・配布 ・4か月児、1歳6か月児、3歳児健診でサポートプランを作成・配布 ・歯っぴー子育て講座終了 ・8月～子育て世代包括支援センターにて「オンライン育児相談」を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロタウイルスワクチン予防接種費用助成事業を終了 ・ロタウイルスワクチン定期接種化(R2.10.1～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日健康生きがい推進課が本庁に新設 ・健康生きがい推進課に保健師1名配置 ・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令のため一部事業を中止(4月・5月) <ul style="list-style-type: none"> ・1月18日新型コロナウイルスワクチン接種推進室が本庁舎に新設 	152,842

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
2年				・新型コロナウイルスワクチン接種推進室に、看護師1名配置 所長、所長補佐、予防検診係に兼務発令	
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき世代個別歯科健診事業の対象者の拡充（40歳から75歳の5歳刻みにし、80歳を追加） ・歯周病予防個別健診の対象者の拡充（20歳、25歳、30歳を追加し、20歳から35歳の5歳刻みで実施） ・まちかど運動教室開始 ・住友理工㈱フレイルチェック測定会を東部地区限定で開始 ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝小牧南地区、小牧地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月～3歳児健診の視力検査でスポットビジョンスクーナーを導入 ・多胎妊娠に妊婦健診受診票を5回分追加交付 ・「健康寿命をのばそうアワード」母子保健分野（自治体部門）において優良賞受賞 ・「子育て世代包括支援センターと児童館が連携した切れ目ない支援体制づくり～1stアニバーサリー事業をとおして～」 ・9月～流産・死産の相談窓口開設（子育て世代包支援センター内） 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCGの集団接種をR3年度末で終了 ・R元年度送付の大人の男性の風しん対策事業（国の施策）対象者のうち、未受診者等に抗体検査及び接種の無料クーポンを再送付 ・新型コロナウイルスワクチン予防接種の開始：接種の期間、R4年2月28日まで 以降、接種期間、対象年齢が順次拡大 12歳以上、初回接種、第1期追加接種実施 小児（5～11歳）初回接種実施 	・子育て世代包括支援センターに保健師1名、保健センターに保健師3名増員	151,920
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・働く世代への大腸がん検診推進事業の対象を40歳のみに変更 ・まちかど運動教室を「健康づくり編」「フレイル予防編」に分けて実施開始 ・住友理工㈱フレイルチェック測定会を全域で開始 ・がん死亡撲滅モデル地区 ＝巾下地区、味岡地区 ・口腔がん検診実施（歯科医師会補助事業、2回/年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学2年生を対象にピロリ菌検査事業を開始（市独自事業） ・こまき妊娠SOSの開設（子育て世代包括支援センター内） ・産後ケア事業のメニュー（アウトリーチ）追加 ・産後ケア事業で償還払いを実施 ・こまき祖父母手帳を作成・配布 ・6月～こまき巡回バス「こまくる」のマタニティフリーパスを配布 ・R5年2月～小牧市すくすく子育て応援事業／小牧市出産・子育て応援ギフト支給事業（国の出産子育て応援給付金）並びに伴走型相談支援を開始 ・市民活動団体「摂食障害よりみち」との協働事業で摂食障害予防啓発協働事業を実施 ・保健センターでのパパママ教室を子育て世代包括支援セ 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPV（子宮頸がん予防）ワクチンの接種勧奨の再開 ・R4年4月～R7年3月の3年間、H25年度からR3年度の間に、HPVワクチン定期接種の対象であった方へのキャッチアップ接種を開始 ・小牧市子宮頸がんワクチン任意接種補助金の開始（～R6年末まで） ・小牧市内の医療機関でBCGの個別接種を開始 ・大人の男性の風しん対策事業（国の施策）がR6年度末まで延長 対象者に抗体検査及び接種の無料クーポンを送付 ・新型コロナウイルスワクチン予防接種の実施：12歳以上、第2期追加接種、R4年秋開始接種の実施 　　小児（5～11歳）追加接種実施 　　乳幼児（6か月～4歳）初回接種実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月1日よりがん患者医療用補整具（ウィッグ・乳房補整具等）購入費助成事業を開始：実施要領施行は4月1日～ ・小牧市役所が健康経営優良法人2023に認定 ・新型コロナウイルスワクチン接種推進室に保健師1名配置 ・新型コロナウイルスワクチン接種会場として保健センターで小児接種を実施 ・保健センターに保健師2名、介護保険課に1名増員 	150,684

年度	成 人・老 人 保 健	母 子 保 健	予 防 接 種	そ の 他	人口(人)
4年		ンターの「集まれたまごファミリー」に統合し、子育て世代包括支援センターで実施			
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・小牧市健康づくり推進プラン策定(第3次計画) ・がん死亡撲滅モデル地区 =東部地区、北里地区 ・知って得するフレイル予防講座を「知って得する若返り講座」「アクティブシニア応援セミナー」「健康づくり応援隊★認定講座」に変更 ・口腔がん検診拡充(歯科医師会補助事業、実施回数を1回拡充し、年3回実施) ・協会けんぽ被扶養者向け集団特定健診と市の胃・大腸がん検診、子宮・乳がん検診の同日開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子健康手帳について任意様式を18歳まで拡大し内容を改訂 ・幼年期・学童期(中学年)性教育を中央図書館で夏休みに実施 ・5月から伴走型支援として妊娠8か月時アンケートを開始 ・7月から低所得の妊婦に対する初回産科受診料の助成を開始 ・乳幼児身体発育調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・4種混合ワクチンの定期接種対象月齢が生後3月から2月へ変更 ・HPVワクチン定期接種の対象ワクチンに9価ワクチンが追加 ・50歳以上の小牧市民に対し帯状疱疹ワクチンの予防接種費用助成開始 ・新型コロナウイルスワクチン特例臨時接種を年度末で終了 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月1日より若年がん患者在宅療養助成事業を開始:実施要領施行は4月1日~ ・骨髓提供者等助成事業を拡充 ・市の独自の助成金として20万円の助成拡充 ・歯科衛生士を1名増員 ・精神保健福祉士1名配置 ・子育て世代包括支援センター、保健センター、健康生きがい推進課に保健師を各1名増員 ・乳幼児健診にペトナム語通訳を配置 ・医療救護所に関する医師会との協定内容を変更 ・1月に災害時看護職ボランティア登録制度を制定 	150,188
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・集団乳がん・子宮がん検診に託児付きの日を設定開始(半日2回) ・いきいき世代個別歯科健診の健診項目を拡充し、オーラルフレイルに係る項目を追加して実施 ・がん対策(がん検診・助成金・がん患者支援センター)チラシを作成 ・保健連絡員や民生委員へ向けてがん教育(情報発信)を実施 ・第2次小牧市自殺対策計画を策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生等に向けたがん教育の出前講座を実施 ・2月から親子健康手帳交付のWeb予約を開始 ・市内の幼稚園・保育園にて生と性的カリキュラム(幼年期)を実施 ・すくすく広場3月末に終了 ・助産師による新生児・乳児訪問と統合し、保健連絡員・保健連絡員OBによる赤ちゃん訪問3月末終了 ・「発達障がいをもつ子どもとその親への支援のあり方」部会を終了 ・育児専門電話「こまねっと」終了 ・栄養相談終了 ・成長記録の様式検討 ・にこにこむし歯予防相談から予防教室へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・5種混合ワクチン定期接種化(R6.4.1~) ・新型コロナウイルスワクチンがB類の定期接種として開始(R6.10.1~) ・小児用肺炎球菌ワクチンの変更(R6.4.1よりPCV15の使用開始、R6.10.1よりPCV20の使用開始、PCV13が定期予防接種から外れる) ・小牧市子宮頸がんワクチン任意接種補助を年度末で終了 ・大人の男性の風しん対策事業をR7.2.28で終了 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種推進室が廃止され、統合3名増員 ・予防検診係長2名配置 ・子育て世代包括支援センター、保健センターに保健師を各2名増員 ・子育て世代包括支援センターに助産師1名増員 ・事務所狭隘化解消のため、栄養実習室を事務所へ改修 	149,206

※人口は各年度4月1日現在の人数